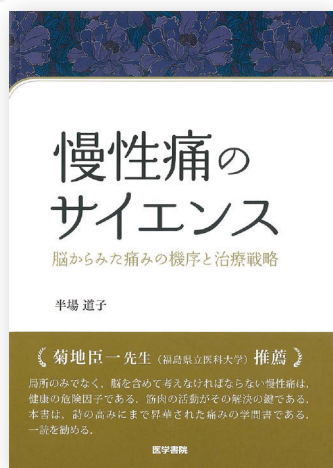


今月の特集関連本



慢性痛のサイエンス

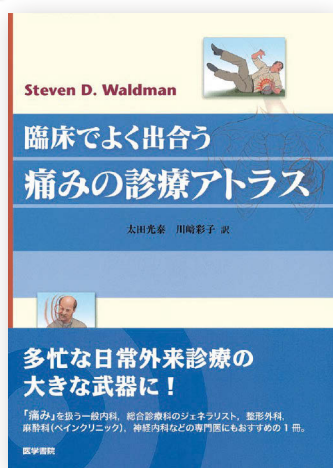
脳からみた痛みの機序と治療戦略

半場道子＝著

本体 3,400 円＋税／A5 判・204 頁／医学書院／2018

今月の特集の総論「痛み治療の新しい視点 慢性痛のサイエンス」(p.382)をご執筆の半場道子先生が、「慢性痛」の治療の新たな地平を切り拓いた 1 冊。

痛みの概念に大きなパラダイムシフトが起きている。本書では、加速化する新しいサイエンスの視点から、慢性痛を脳科学・神経科学からそのメカニズムを紐解き、そこから治療のターゲットを明らかにする。さらに、新しい痛みの概念として慢性炎症による神経変性疾患の病態に迫る。慢性痛のメカニズムからその正体に迫り、痛み診療に希望を与える。



臨床でよく出会う

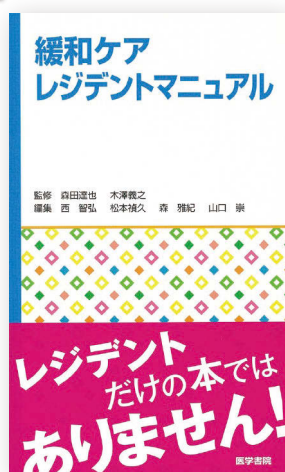
痛みの診療アトラス

Steven D. Waldman＝原著

太田光泰、川崎彩子＝訳

本体 9,500 円＋税／B5 判・464 頁／医学書院／2014

コモンな痛み 124 疾患の病態生理・徴候・治療方針を、イラストとともに簡潔に解説。疾患名や症候群名を明示し、イラストを多用することで、患者の訴えを具体的にイメージできる。鑑別を要する症候群が提示され、診断に必要な画像所見の例も豊富。一般内科・総合診療科のジェネラリストのみならず、整形外科・麻酔科・神経内科などの痛みを扱う専門診療科医師にもおすすめの 1 冊。

緩和ケア
レジデントマニュアル

森田達也、木澤義之＝監修

西 智弘、松本禎久、森 雅紀、山口 崇＝編

本体 3,600 円＋税／456 頁／医学書院／2016

緩和ケアの新スタンダードマニュアルが、ついに完成。第一線で活躍する気鋭の執筆陣が、基本から最新知見・ノウハウまで緩和のエッセンスを解説。各項目ではエビデンスを重視し、およぶかぎり非がん疾患にも応用できるよう心がけた。通読できるコンパクトサイズながら網羅的であり、入門書としても最適。若手のみならず、指導者にとっても有用な好著。日常診療で白衣のポケットに忍ばせていただきたい 1 冊。